

平成27年教育委員会第8回定例会会議録

開会日時 平成27年8月 7日 午前 10時00分
閉会日時 同 上 午後 0時25分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 塚 本 亨
同職務代理 天 宮 久 嘉
委 員 松 本 實
委 員 杉 浦 容 子
委 員 竹 高 京 子
教 育 長 塩 澤 雄 一

議場出席委員

・教育次長	前田 正憲	・学校教育担当部長	平沢 安正
・庶務課長	杉立 敏也	・学校施設課長	青木 克史
・施設整備担当課長	長南 幸紀	・学務課長	鈴木 雄祐
・指導室長	中川 久亨	・統括指導主事	駒崎 彰一
・統括指導主事	加藤 憲司	・地域教育課長	尾形 保男
・生涯学習課長	小曾根 豊	・生涯スポーツ課長	倉地 儀雄
・中央図書館長	橋本 幸夫	・教育委員会事務局副参事	中島 英一

書 記

・企画係長 齊藤 正幸

開会宣言 委員長 塚 本 亨 午前 10時00分 開会を宣する。

署名委員 委員 塚 本 亨 委員 天 宮 久 嘉 委員 塩 澤 雄 一
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○委員長 おはようございます。ただいまから平成 27 年度教育委員会第 8 回の定例会を開会いたします。

本日は議案等が 1 件、報告事項等が 1 件、その他が 3 件でございます。

議事に入る前にお諮りしたいことがございます。本日、36 名の傍聴の申し出がありました。「葛飾区教育委員会傍聴規則」第 4 条第 1 項本文の規定により傍聴人の定員は 10 人となっておりますが、会場スペースを考慮し、同項ただし書の規定により定員を 20 人に変更したうえで、同条第 2 項の規定により抽選をし、20 人までの傍聴を許可したいと思います。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 それでは、傍聴を許可することといたします。

それでは、委員長のほうから傍聴人の方をお願いを申し上げたいと思います。

まず葛飾区教育委員会の傍聴規則等の規定によって、傍聴人の方は次の事項を守っていただきたいと思います。

傍聴人は委員会の中では発言ができません。

また、傍聴人は静粛を旨として、委員の言論に対して拍手など賛否をあらわすようなことはおやめいただきたいと思います。

また、傍聴人は写真撮影、録画・録音を行わないでください。

なお携帯電話の電源はお切り願いたいと思います。

傍聴人はその他、会の妨げとなるような行為をしないでください。

なお傍聴人の方にこれらの規則に反する行為があった場合には、私のほうから退席をお願いするようになりますので、どうぞご了解ください。

本日の会議録の署名でございますが、委員長に加えて天宮委員、塩澤教育長をお願いいたします。

議案第 43 号「平成 28 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」上程いたします。

指導室長、お願いします。

○指導室長 議案第 43 号「平成 28 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」、ご説明いたします。

今年度は平成 28 年度より使用いたします中学校教科用図書についての採択の年に当たります。別紙 1、中学校教科書目録からご審議いただき、採択の決定をいたしますので、よろしくをお願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。ただいま上程理由を述べていただきました。

議案第 43 号「平成 28 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」の審議に入ります。

なお審議に先立ちまして、7 月 10 日に葛飾区中学校教科用図書検討委員会から、平成 28 年度使用中学校教科用図書調査研究報告書が教育委員会に提出をされております。これらのものを踏まえて、本日の教育委員会では、国の検定を受けた教科用図書の中から、教科の種目ごとに使用する教科用図書を採択していくことになります。

それでは、採択に入ってまいります。

最初に国語の教科書についてご意見を伺います。

指導室長。

○指導室長 現在は教育出版を採択しております。前回の教科書採択での採択理由につきましては、第 1 に「読むこと」、「話すこと、聞くこと」、「書くこと」、「伝統文化と言語」といったように領域ごとに教材をまとめてあり、わかりやすい。第 2 に「確かめよう」から「考えよう」、そして「ここが大事」と、基礎から発展へ学習が進められる。第 3 に各学年「読み比べ・構成と表現」という単元の後に、「読んでみよう」というコーナーがあり、関連した作品を紹介するなどの工夫がされている。第 4 に考えや感想を「発表しよう」、「話し合おう」など、対話を大切にした言語活動が多く、コミュニケーション能力の育成につながる。以上の 4 点が挙げられております。

○委員長 ありがとうございます。それでは、まず私のほうから、国語の教科書につきまして、全体にかかわることについてお話を申し上げたいと思います。

今、指導室長の採択の理由にも述べていただきましたけれども、まず 1 点として、「東京書籍」が目標と学習の流れを確認し、なお学習の見通しのもとでの構成となっております。また、「学校図書」に関しましては、「読解の学びの窓」では学習効果を確認する設定がなされております。「三省堂」に関しましては、「学びの道しるべ」や「読み方を学ぼう」で、学習の課程を示されておりました。「教育出版」でございますが、「学習の手引」では、課題解決の道筋が示されております。また、「光村図書」に関しましては、「学習の見通しをもとう」では、それぞれの教材の学習のポイントを一覧にしております。

委員からの意見を求めたいと思います。

杉浦委員、お願いいたします。

○杉浦委員 私は「学校図書」の平和教材が印象に残っています。それはアメリカ軍の報道写真家が原爆投下後の長崎で撮影した写真の 1 枚が掲載されています。既に亡くなったと思われる幼子、後ろにのけぞらされたままの幼子をおんぶして立ち尽くす少年の写真、この写真の表現と言葉の表現の特徴を捉えることにより、筆者の主張を的確に読み取ることができます。ほかにも戦争や平和に関する読み物が掲載されているのがよいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 「教育出版」と「光村図書」は、体験したことを文章にする手だてや、わかりやすく説明するためのヒントとして、マッピングが取り上げられています。私は発想を広げるためにはとても有効な手段だと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 「学校図書」の教科書は、文章資料を中心に据えた構成となっておりました。特に読書案内では、生徒が読書に親しみやすいような読み物的教材が精選されています。私はとりわけ「坊ちゃん」の後に参考資料としまして、「孫が読む漱石 坊ちゃん」というものが掲載されており、子どもたちに本を読む楽しさ、それを味わわせる作品と考えております。それはおもしろい構成の一つだなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか委員のご意見ありますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 私は現行の「教育出版」、または「光村図書」がよいと考えております。前回採択された「教育出版」は、言語能力と話題を組み合わせた新たな国語単元の創造を大切にしています。単元の展開のイメージと、学習のスパイラルを図式化し、わかりやすく示しています。文学的文章も精選がされており、内容の充実が図られています。

○委員長 ありがとうございます。

教育長、お願いします。

○教育長 私は子どもたちに自信と意欲を持って学校生活を送ってほしい、そのためには自己肯定感とか、自尊感情とか、そういったものが高められる授業展開ということを目指しています。私は子どもたちがわかる授業とか、楽しい授業を受けてほしいという思いもあります。学校にはベテランの教員もいれば、ミドルリーダー、若手教員といったさまざまな年齢構成の教員がいて、教員の力を最大限に発揮できる教材が掲載されていて、子どもたちが豊富な語彙力だとか、そういったものを身につけていくことができる教科書を選んでいきたいと考えています。

子どもたちの進路を考えると、やはり基礎・基本の徹底ということも欠かせないことだと思うのです。それからまた習得した知識と活用する力といったようなものを身につけたいと。意欲的に学習することができる教科書を選びたいと思っています。

○委員長 ありがとうございます。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 伝統的な言語文化と、国語の特質に関する事項の古典の「竹取物語」を各社で扱っております。それぞれの教科書会社で取り上げ方が異なっていると思います。中でも「三省

堂」では、ストーリーをととても大切に作り上げております。読み取りの答えを求める取り上げ方ではなく、想像力を伸ばすための課題が設定されており、生徒が楽しく学べる工夫がされていると思います。

○委員長 ありがとうございます。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 私は「光村図書」や「教育出版」で取り上げられているメディアリテラシーの視点に着目いたしました。情報化社会に対応するために、本、またはインターネット、新聞からの情報の取り出し方について生徒に示しています。また、メディアとのかかわり方について示唆をしている文章が掲載されておりまして、21世紀を生き抜く子どもたちに必要な力、それが身につくのではないのでしょうか。

○委員長 ありがとうございます。

松本委員、お願いします。

○松本委員 私は文学的文章の印象を申し上げたいと思います。「光村図書」では、文学的文章において精選された多様な文章がバランスよく配置されておりまして、中でも夏休み明けに予定されている平和教材が3学年ともに掲載されていることがよいと思います。

○委員長 ありがとうございます。

杉浦委員、お願いいたします。

○杉浦委員 関連で、「光村図書」では、言語活動を通し、言葉の力を日常生活や社会生活に生かせる工夫がされていると思います。文学的文章では、子どもたちに読ませたい作品が掲載されておりまして、また、「三省堂」では、対話や話し合い活動などの共同的な言語活動の欄を適切に設けていると思います。とりわけ学習目標とまとめに重きを置いた学習構成の工夫がよいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。私自身も「光村図書」を拝見させていただいて、文学作品に深い味わいを感じました。

また漢字などの言語の学習についてはいかがでしょうか。どなたかご意見ございましたらお願いいたします。

竹高委員。

○竹高委員 小学生の漢字の筆順が「教育出版」と「光村図書」では取り上げていました。基礎基本の徹底に役立つと感じています。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 「教育出版」、「光村図書」においては小学校との連携を考え、小学校の漢字の筆順が掲載されておりまして。

○委員長 ありがとうございます。私のほうから一言。

いわゆるユニバーサルデザインにつきまして、「光村図書」の前扉の写真と後ろ扉に、色いろの言葉というページがございました。このページに関しまして何かご意見がいただければと思います。

天宮委員。

○天宮委員 私も色に関しましては、日本の伝統的な文化の一つである色のあらし方、それについて学ぶ機会があったほうがよいと考えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 そのことにつきましては、私も同意見です。ただ、指導に当たっては色覚の多様性に配慮する必要があると思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますか。

教育長、お願いします。

○教育長 本区の生徒の実態を踏まえると、国語だけに限らずあらゆる教科で、やはり読む力を高めるということが大きな課題だと私は思っています。よい言葉、よい作品を通して身につけることによって、国語の能力の向上が期待できる。

それと小学校と中学校との連携ということにおいて、読み物教材が精選されている「光村図書」を取り入れることで、学びの連続性がより一層進むのではないかと、そして読む力も向上するのではないかなというふうに考えています。

○委員長 ほかによろしいでしょうか。

委員のほうからいただいたご意見、あるいはまた調査研究報告書、さきの教育委員会での報告のあった本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「光村図書」を支持する声が多いようですので、「光村図書」を採択しようと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。それでは次の教科に入ります。書写の教科書についてご意見を伺いたいと思います。

指導室長、お願いします。

○指導室長 書写についてでございますが、現在は「光村図書」を採択しております。前回の教科書での採択理由でございますけれども、第1に色を使って各学年を分ける構成になっており、3年間の学習の見通しが明確に示されている。第2に巻末に小中学校で学習した漢字や、常用漢字表に追加された漢字が楷書と行書で掲載されている。第3に筆順、字形、運筆がわかりやすく、手本を見ながら整った文字を書くという視点から使いやすい。第4に「手紙の書き方」、「封筒の書き方」、「ノートのとめ方」など将来的に役立つことが掲載されている。以上

の4点が挙げられておりました。

○委員長 前回の採択理由にある手本となる文字について、何か委員からご意見がございましたらお願いしたいと思います。

天宮委員。

○天宮委員 「光村図書」のほうは、筆順がわかりやすく示されております。字形、字の形ですね。字形が整っており、毛筆、硬筆、その学習を円滑につなげるのではないのでしょうか。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

杉浦委員。

○杉浦委員 今、天宮委員のほうからのお話でございましたけれども、毛筆では「光村図書」の手本の文字が整っていると思います。手本としてふさわしいと考えます。そして書写の教科書では、掲載されている書体が大切だと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

教育長。

○教育長 「光村図書」は、国語との関連ということを考えると、古典の作品がその教科書に掲載されていると思います。

○委員長 ただいま教育長からもございました国語の教科書に関連を図っているかどうかは大切な視点であろうと思いますが、いかがでしょうか。

竹高委員。

○竹高委員 調査報告書を見させていただきますと、各社それぞれ関連づけていると思います。ただ、国語との関連を十分に考慮しているのは「教育出版」と「光村図書」ではないかと思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかいらっしゃいますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 私は小学校と中学校との連携について考えました。国語と書写の教科書を同じにしたほうが教えやすし、学びやすいだろうと思います。「光村図書」の点画の種類と筆遣いでは、小学校で学習したことを確認することができ、よいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 筆記具の持ち方や書くときの姿勢は、中学生になるとさらに大切な要素になると思います。その点では「三省堂」、「光村図書」、「学校図書」、「東京書籍」、その4社が写真を使っていてわかりやすいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

松本委員、お願いします。

○**松本委員** 楷書の毛筆の指導では、小学校の復習として基本点画が掲載されております。「東京書籍」は、2ページを点画の基礎として示しており、中学生の入門編としては工夫していると思いました。また、小学校で学習した漢字を一覧表として巻末につけており、「教育出版」と「学校図書」は行書、「東京書籍」と「光村図書」、「三省堂」は楷書と行書が掲載されております。「東京書籍」は表に番号がつけられていて、字を探す工夫が見られます。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかございますか。

教育長、お願いします。

○**教育長** 私は義務教育の最後の中学3年生の学びに注目しました。「光村図書」は巻末の資料が充実しておりまして、特にポスターとか、リーフレットの書き方が詳しく載っていて、それから文字を日常生活に生かすということを大事にしているところがよいと思いました。

○**委員長** ただいま巻末についてというお話が進んでおります。折り込みの手本の位置についてのご意見がございますか。

竹高委員。

○**竹高委員** 「東京書籍」、「三省堂」、「光村図書」は、書き初めなどのお手本が巻末に掲載されていて、とてもいいと思います。資料においては「東京書籍」、「三省堂」、「光村図書」が充実しています。特に手紙の書き方やレポートの書き方などが具体的に書かれている「光村図書」の内容がとてもわかりやすいです。

○**委員長** ありがとうございます。では、私のほうから若干発言させていただきますが、書写の指導をする際には、資料も大切ではございますが、実際に墨を使って毛筆で書くときの扱いやすさという点も考えなければならないと思います。「東京書籍」と「光村図書」の2社が私は扱いやすさがよろしいかなと思いますが、いかがでしょうか。

教育長、お願いします。

○**教育長** 全体のバランス、それと小学校から中学校への学びの連続性、そういったものを考慮するとやはり「光村図書」がよろしいのかと考えますが。

○**委員長** ありがとうございます。皆さんからご意見を多々いただきました。また、調査研究報告書、さきの教育委員会での報告のあった本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「光村図書」を支持する声が多いようなので、「光村図書」を採択しようと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ありがとうございます。続きまして、地理の教科書についてご意見を伺います。

指導室長。

○**指導室長** 現在は「東京書籍」を採択しております。前回の教科書採択での採択理由につきましては、第1にA B判のサイズを生かして写真が大きく、きれいでビジュアルデザインであ

る。第2に巻頭部分で小学校の学習を振り返り、「世界のさまざまな地域」への円滑な接続をしている。第3に基礎的な内容の定着と発展的な内容の習得場面が多く設定されている。第4に「身近な地域の調査」では、地域調査の手順が生徒にとってわかりやすく解説してある。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。委員からの意見を求めたいと思います。

杉浦委員。

○杉浦委員 どの教科書も領土問題につきましては、適切に取り扱っていると思えました。葛飾区の扱いにつきましては、「東京書籍」では東京23区の昼夜人口について具体的な数値を示しています。数値を比較することは地理の学習においては基礎的な資料活用だと思えます。また、「日本文教出版」では、荒川放水路の航空写真で区の一部が掲載されていて、生徒にとっては身近な題材だと思えました。

○委員長 ありがとうございます。

松本委員、お願いします。

○松本委員 「帝国書院」では、世界のさまざまな地域の調査の学習において、隣国の韓国を事例として扱っています。また、「身近な地域の調査」でも葛飾区と環境が似ている練馬区を事例として扱っています。これらの点からも生徒が身近な事例を通して学習活動を進めていくことができると思えました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

竹高委員。

○竹高委員 私は「教育出版」が巻末の用語解説が豊富で充実しているという印象を受けました。生徒が学習しやすい手だてとなっていると思えます。毎時間の「ふりかえる」という場面では、「ステップ1」と「ステップ2」の2段階を設定してありまして、「整理して書き表そう」、「その理由を書き表そう」、「略地図に書き表そう」など、丁寧にまとめる活動ができるのではないかなと思えました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 地理はやはりさまざまな資料を活用しながら、社会事象について考えていくということを大事にしたいと思えます。地図とかグラフとか写真など資料を大切に扱っているのは「東京書籍」かと思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

天宮委員。

○天宮委員 私は葛飾区の教師がそれまで使用してきました使いやすい教科書を選ぶことが大事だと思えます。若手教員が多くなっている実態も考えますと、「東京書籍」がよいのではない

かと思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 地震大国日本として、災害対策について学ぶことは重要であると思えます。どの教科書も東日本大震災を事例として、具体的な取組みを紹介しています。発展的な内容としては各社で地震の起こる仕組みについても詳しく解説しており、よいと思えました。特に「帝国書院」、「教育出版」、「東京書籍」は、地図を通して災害対策について学ぶことができる工夫がされている、そのところがよかったと思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

竹高委員。

○竹高委員 小学校の社会科との接続という観点から見まして、「教育出版」では「地理にアプローチ」という中で、小学校で学習した地図やグラフに関する基礎的な知識について確認をするような学習活動が展開されていて、それはよいと思えます。

○委員長 ありがとうございます。では、私のほうからも一言、意見を述べさせていただきます。「東京書籍」でございますが、各章の導入におきまして小学校段階で学習した語句、あるいは写真を通して振り返ることができる工夫が見られました。また、表紙の裏ページには世界地図と主な国の写真と国旗を掲載し、小学校の学習を振り返りながら地理の学習にスムーズに入れるような工夫がなされていると思えました。

天宮委員。

○天宮委員 「日本文教出版」におきましても、「言語活動コーナー」として「読み取ろう」、「考えよう」、「まとめよう」、「伝えよう」という課題を適宜提示し、思考、判断、表現する学習活動が展開されております。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

杉浦委員。

○杉浦委員 「葛飾教師の授業スタンダード」との関連では、どの教科書も1単位時間のねらい、学習課題を提示して主体的な学習が進められるようになっています。また、まとめにおいてもどの教科書もその時間を振り返る学習活動を明確に提示しています。文章でまとめを行うということで、言語活動の充実も図られていると思えます。

○委員長 ありがとうございます。

松本委員、お願いいたします。

○松本委員 章ごとのまとめにおいても、各社基本的事項の確認や文章による表現活動が設定されており、まとめの学習を通して基礎基本の定着と言語活動の充実が図られると思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

天宮委員。

○**天宮委員** 「東京書籍」では、生徒の主体的な活動である「身近な地域の調査」、それにおいて調査に役立つウェブページやGISという地理情報システム活用の仕方を紹介して、生徒が主体的にパソコンを活用した調査活動が行えるような工夫が見られているのでよいと思います。

○**委員長** ありがとうございます。

今、議事進行上、傍聴人の方の会話が気になりました。冒頭お話をしましたけれども、ぜひ静粛を旨とするということを改めて申し上げたいと思います。

ほかにどなたかございますか。

竹高委員、お願いします。

○**竹高委員** 今、天宮委員からも「東京書籍」のお話がありましたけれども、「東京書籍」は調べ学習の手段として、インターネットや新聞のことを取り上げまして、活用上の注意点を示しております。メディアリテラシーの観点からも指導を行うことができる工夫がされていると思います。

○**委員長** ありがとうございます。

教育長、お願いします。

○**教育長** 「東京書籍」は、資料の読み取り方について解説が丁寧に行われているというふうにあります。資料を読み解く力を葛飾の子どもにつけていくことは、やはり今後大きな課題となっていくと思います。以上の点から「東京書籍」がいいかと思います。

○**委員長** 各委員の方からいただいたご意見、あるいは調査研究報告書を読ませていただき、また、本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「東京書籍」を支持する声が多いように判断いたしました。「東京書籍」を採択しようと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** では、次の教科に入らせていただきます。

続きまして、歴史の教科書についてご意見を伺います。

指導室長、お願いします。

○**指導室長** 現在は「教育出版」を採択しております。前回の教科書採択での採択理由につきましては、第1に各単位時間に「学習のねらい」を明示することで、生徒が目当てを明確にして学習に取り組めるよう工夫している。第2に写真や図、地図、図解、解説などの資料を豊富に掲載している。第3に「学習のねらい」、「トライ」、「学習のまとめと表現」、「読み解こう」などを設け、言語活動や資料の読み取りに工夫がある。第4に世界史に関連づけて説明するなど、中学生の興味がわくように工夫してある。以上の4点が挙げられておりました。

○**委員長** ありがとうございます。私のほうから冒頭意見を述べさせていただきます。本区で実施してございます学習意識調査の結果では、子どもたちの活字離れが課題となっております。

す。生徒には歴史の教科書をもとにして、正しい歴史認識について情報を正確に捉え、しっかりと理解をしてほしいと思っております。そのためには1年間の歴史学習において、教科書の内容が網羅的に配列されていることと、なおかつ中立性が担保されている表現になっていることが重要だと思っております。

ご意見を申し上げます。

杉浦委員。

○杉浦委員 来る8月15日は戦後70年の節目を迎えます。平和とは人々が積み上げて、つくり上げていくものだと思います。今、目の前にいる生徒一人一人に対して、歴史的事実や正しい歴史認識についてしっかりと理解させ、平和を望む心情を育んでいくことが大事だと思います。また、日本がさきの大戦で行った事実についてもしっかりと認識し、その上で国際社会において世界の人々と対話できる人材を育成していくことが大切だと思います。

領土問題につきましては、各社とも北方領土、竹島、尖閣諸島が明確に日本の領土であることを解説しています。「教育出版」、「帝国書院」は見開き2ページにわたり詳しく内容が掲載されておりました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

天宮委員。

○天宮委員 まず「学び舎」についてですが、判のサイズが大きい分、掲載されている資料のサイズが大きくて見やすいと感じました。また、「育鵬社」、「自由社」は読み物的な教材としては大変読みやすいと思いました。単元がバランスよく配列されているのは「教育出版」だという印象を受けました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 「教育出版」の発展的な学習が特設のページでございますけれども、「人物から歴史を学ぼう」、そのところで、「杉原千畝」について詳しく紹介していたことは評価できると思いました。人物を通して歴史を学ぶということはとても大切なことだと思います。

「自由社」だったと思いますけれども、各章の最後に掲載されている歴史豆辞典、重要語句について暗記しやすいように100字にまとめ、学習の参考になると思いました。

○委員長 ありがとうございます。では、私のほうからも一言。

先ほど来出ましたけれども、「育鵬社」を査読させていただき、各章の導入においてイラストで学習の流れを大観できる工夫がございました。生徒はスムーズに学習に入ることができるという感想を持ちました。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 各社学習の展開については、それぞれ工夫が見られました。「かつしか教育プラン

2014」において、言語活動の充実というのが大きな課題となっております。その点を重視していると考えられるのは、「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」だと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか意見、ございますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 私も言語活動の充実の点から申し上げたいと思います。「日本文教出版」は、「言語活動コーナー」として「読み取ろう」、「考えよう」、「伝えよう」という学習活動を促し、思考力、判断力、表現力の育成を図る工夫が見られました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 私は「東京書籍」が、アイヌ民族や琉球王国についても詳しく説明をしているなという印象を持ちました。また、それぞれ各社共通して、索引が非常に充実していると思いました。生徒が学習を進めていく上では有効な手だてになっていると思われまます。「東京書籍」は用語解説も充実している点と、各章と章との間に生徒の興味・関心を高められる年表が掲載されています。とても工夫が感じられました。「東京書籍」と「教育出版」は、1単位時間の中に年表が掲載されていて、歴史全体を通して今、どの時代について学習しているのか、とてもわかりやすい工夫がされていて、よいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

「清水書院」では、特集ページとして「もっと知りたい歴史」、あるいは「歴史のとびら」というコーナーで、さまざまなエピソードを紹介しておりました。発展的な学習につながるという点で興味深いと思いました。

松本委員、お願いします。

○松本委員 「葛飾教師の授業スタンダード」との関連では、見開き2ページの中で、まず興味・関心を持たせる「課題提示」、文章表現や各資料を活用しての「調べる活動」、そして最後に「振り返る活動」と、一連の学習の流れが1単位時間の中で適切に展開されている「東京書籍」と「教育出版」がよいと思いました。また、「教育出版」は、全体を通して世界の歴史との関連を重視していると感じました。年表においても、世界史とのつながりが見られたり、さまざまな資料の中で世界史との関連が図られたりしており、よいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見をいただけますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 歴史の学習で、生徒が歴史の認識に対してしっかりと考え、そして正しく理解していく上で大事なことは、より多くの歴史の事実をいろいろな資料や本文で提示できているかどうかということだと思うのですね。教科書の導入部分において、「東京書籍」は生徒の興味・関心を高めるために小学校の学習との関連が図られていると感じました。

これからの時代、もう一方では「グローバル化」ということが大きな課題となっています。ですから歴史の学習においても世界の歴史との関連を図っていくということは、とても重要なことだと私は思っています。また、近隣諸国との関係、重要な要素であるな。その点を特に重視しているのは「教育出版」であるかなというふうに思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 同じく「教育出版」ですが、第1章で小学校との学習との接続を意識しながら、丁寧にわかりやすく歴史学習の進め方について解説をしていると思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 全体の構成、バランス、また資料の適切さなどを考慮しますと、「東京書籍」、「教育出版」の2社がよいのではないかと考えております。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけましたら。

教育長、お願いします。

○教育長 「葛飾教師の授業スタンダード」との関連、それからグローバルな視点、生徒の興味・関心、そして主体的な学習の展開をしていくことができる手だてなどについて見ていきますと、総合的に考えて「教育出版」が適切であるかと思えます。

○委員長 ありがとうございます。皆様方からいただいた意見、総合的な判断をいたします。あるいは調査研究報告書、本区の生徒の実態等を踏まえて総合的に考えますと、「教育出版」を支持する声が多いように思います。「教育出版」を採択しようと思えますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして、公民の教科書についてご意見を伺います。

指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「東京書籍」を採択しております。前回の採択理由でございますけれども、第1に自由・権利・責任・義務について、個人と社会とのかかわりをわかりやすく仕上げています。第2に「公民にチャレンジ」で、学習方法の提示をしたり、「公民にアクセス」で興味・関心を引く話題を取り上げたりしている。第3に「深めよう」、「トライ」で発展的、補充的な内容を取り入れている。第4にA B判サイズを生かして写真や絵など豊富に掲載している。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。では、冒頭私のほうから一言述べさせていただきます。今日、子どもたちを取り巻いている社会環境は非常に様変わりをしてまいっております。直近

の問題としては、選挙年齢が18歳になることも挙げられますし、また一方、若い世代の投票率の低下、あるいは政治離れという点も問題視されて大きな課題となっており、また、近隣諸国との関係も課題の一つだと思われます。

その他、さまざまな課題に対して、生徒が自分で考え、正しく判断をし、そのための工夫が公民の教科書には大事なことではないかと思っております。その点から「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」がよいという印象を持ちました。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 今を生きる子どもたちが未来の社会のあり方について考えていくことはとても大事なことだと思います。「持続可能な社会」について、充実した内容となっていると感じたのは「東京書籍」でした。

また、若手教員が多くなっている実態を考えますと、現在、使用している「東京書籍」がよいのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか委員のご意見ございますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 どの教科書も領土問題については、北方領土、竹島、尖閣諸島が日本の固有の領土であることを明確に表示しております。また、各章の導入において、小学校の学習内容を振り返る学習活動があり、小学校段階との接続を意識した構成になっていると感じました。生徒もスムーズに学習に入っていけるのではないかと感じました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか委員のご意見、ご発言はございますでしょうか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 巻末の法令集は、どの教科書もよいと思いました。日本国憲法における用語解説を行っているのが「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」、「清水書院」、「日本文教出版」、「育鵬社」です。中学生の実態に合っていると思いました。「教育出版」が2色刷りでとても見やすくできておりました。中でも解説が一番わかりやすいと感じたのは「東京書籍」でした。「東京書籍」では、マスメディアと世論を新聞の社説で考えさせることをしておりますが、内容は別として文章を自分なりに受けとめて考えること、とてもよい学習活動ではないかなと感じます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 「葛飾教師の授業スタンダード」の関連では、各社とも見開き2ページを1単位時間として、「ねらい」、「調べる」、「まとめる」という一連の学習が適切に展開されていると思います。中でも「東京書籍」は生徒の実態に合い、使いやすいのではという印象を受けました。先ほど話がございましたけれども、「東京書籍」では見開き2ページで、領土問題について資料

を活用しながら、わかりやすく解説を行っているように思いました。

また、「清水書院」でございますけれども、中学生と地域住民との防災訓練や住民投票を行う中学生の写真を掲載して、興味・関心を高める工夫が見られたと思います。

葛飾区の関連では、「日本文教出版」が特設ページ、「日本経済を支える中小企業」の中で、「江戸っ子一号」を紹介していて、評価できると思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

松本委員。

○松本委員 教科書のサイズとしては、A B判が使いやすいという印象を持ちました。採用しているのは「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」、「日本文教出版」、「育鵬社」です。

学習内容のバランスや象徴天皇制、国旗・国歌、領土問題等の取り上げ方が中学生の実態に合っていると感じたのが、「東京書籍」、「教育出版」、「清水書院」、「帝国書院」、「日本文教出版」だと思いました。

その中から生徒が1単位時間の中で意欲的に学習を進めていける紙面構成であると感じたのが「東京書籍」です。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか意見を。

教育長、お願いします。

○教育長 今を生きている中学生にとって、最新の情報を提供するのとはとても重要なことだと思っています。その情報を持ってさまざまな課題において正しい価値判断ができるというふうに思っています。

その点から、資料のデータが新しいのは「東京書籍」です。2020年のオリンピック・パラリンピックのコラム、それからノーベル平和賞を受賞したパキスタンのマララさんの説明など、生徒の興味・関心を高める資料ページが多いのではないかと考えています。

また、「日本国憲法」の扱いなのですけれども、象徴天皇としての立場を明確に示しているのは「東京書籍」と「自由社」です。「葛飾教師の授業スタンダード」との関連という点でも、「東京書籍」と「教育出版」が明確な「めあて」と「まとめ」を提示している。それから調べる活動において、適切な資料提示が行われています。子どもの主体的な学習に取り組めるようにすることは、「かつしか教育プラン2014」にも明記されており、次の学習指導要領の柱である「アクティブラーニング」にもつながっていくのではないかとこのように思っています。

「東京書籍」は、地方自治の学習の中で、中学生による社会参画を取り上げています。葛飾の基本方針、「協働」の観点からも、このあたりは大変評価できると考えています。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 「かつしか教育プラン2014」におきまして、確かな学力を育成するために言語活

動の充実を図ることが求められております。さまざまな学習活動の中で、生徒の言語活動をしっかり保証しているのは「東京書籍」、「教育出版」、「帝国書院」、「日本文教出版」だと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 確かに言語活動の取組みに関しましては差があると思われま。中でも言語活動の充実に重点を置いているのは、「東京書籍」だと思います。全体的に言語活動の学習場面のほうが他社よりも多く展開されていて、毎時間や章ごとの「まとめ」であったり、「えんぴつマーク」であったり、「公民にチャレンジ」など、学習を通じて言語活動を充実させるという工夫が感じられました。

○委員長 ありがとうございます。両委員からまた言語活動という部分がありました。私、ちょっと質問を変えまして、東日本大震災、3、4年近くになってございますが、大震災の復興と、あるいは近隣諸国との関係などさまざまな課題において、適切な資料を提示しているのが「東京書籍」という印象を持っております。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 現代社会におきましては、貧困、経済、環境、地域問題、資源、宗教、人権、そして持続可能な社会など、さまざまな課題があります。「東京書籍」では、巻頭・巻末においてさまざまな課題に対して、中学生が中心となった取組みを写真等で紹介したり、社会参画への意識づけになるのではないかという思いがしましたので、「東京書籍」がよいのではと思いました。

○委員長 皆さんから各般にいただきましたご意見、あるいは調査研究報告書、区の意識調査結果から捉えた本区の実態を総合的に考えますと、「東京書籍」を支持する声が多いようでございます。「東京書籍」を採択しようと思っておりますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして、地図についてご意見を伺います。どなたかご意見ございますか。

指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「帝国書院」を採択しております。前回の教科書採択での採択理由につきましては、第1にA B判で大きくて見やすく、折り込みで日本全土の地図が大きく掲載してあり、地名表記もわかりやすい。第2に巻頭で「この地図帳の使い方」という項目を設け、地図の活用する方法について詳しく解説してある。第3に学習課題が随所に設けてあり、生徒がみずから学ぶための調べ学習や問題解決的な学習に対応している。第4に環境問題について「世界の環境問題」というテーマで資料図と写真を用いて具体的に説明している。以上の4点が挙げ

られておりました。

○委員長 ありがとうございます。ご意見ございましたら求めたいと思いますが。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 「東京書籍」、「帝国書院」とも充実した統計資料が掲載されておりました。統計の内容が表として見やすいのは「東京書籍」かなというふうに思います。世界の国別統計などでは、「東京書籍」よりも「帝国書院」のほうが新しい内容となっていました。また、世界の主な都市の人口統計では、「東京書籍」はアジア州、ヨーロッパ州など州ごとに表示がされていて、「帝国書院」のほうはアイウエオ順に表示されていました。調べやすさの点から考えると「帝国書院」がよいのではないかなと思いました。

○委員長 ありがとうございます。では、私のほうからも一言。今、統計のお話が出てまいりまして、同じく世界の国別の統計を考えますと、「東京書籍」におきましては国名を、「帝国書院」に関しましては正式国名という表示がされています。一例を挙げるならば「東京書籍」では「アゼルバイジャン」、「帝国書院」では「アゼルバイジャン共和国」といったような表記の違いが見受けられました。両社の地図とも教科書との関連が図られており、よくできていると思います。

なお、使いやすさという点からまいりますと「帝国書院」のほうが地図としてのよい印象を持ちました。

ほかにどなたかございますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 「東京書籍」は資料のデータが充実していきまして、写真も鮮明であるという印象です。見やすく内容がわかりやすい工夫もされているのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 私は葛飾区の取扱いについて申し上げます。2社とも葛飾区内の地名や名称、施設の記載が見られました。「東京書籍」では堀切菖蒲園、金町浄水場、柴又帝釈天など、「帝国書院」では区役所や郷土と天文の博物館、総合スポーツセンター、渋江公園、新小岩公園など、より多くの施設が記載されており、生徒の興味・関心を高めることができるのではないかなと感じを持ちました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 地図は「見やすさ」と同時に、「調べやすさ」とか、「ひきやすさ」とか、そういう要素がとても大事になると思っています。学習の中で生徒が調べたい内容が速やかに調べられるといったものも重要な要素であるというふうに私は考えています。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 領土問題につきましてですけれども、2社とも文章や国土の色、国境などで日本の国土が明確に示されておりました。北方領土、竹島、尖閣諸島について、写真を掲載し、紹介しております。「帝国書院」は、最終ページで領土、領空、領海や排他的経済水域、接続水域について模式図で解説していて、中学生の生徒にもわかりやすいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 「東京書籍」では、イラストの吹き出しにより適宜課題提示がされています。「帝国書院」では、学習課題として「地図を見る目」、「やってみよう」を設定し、地図活用の技能や地図から読み取る力、言語活動の充実を図る学習活動が期待できると思いました。

○委員長 ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 「帝国書院」についてですが、鳥瞰図を多く掲載されておまして、地域の様子をより具体的に捉えられる工夫が見られました。特に世界文化遺産に登録された富士山の衛星画像の鳥瞰図というものは大変迫力があり、生徒の興味・関心を高めることができるのではないのでしょうか。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 「帝国書院」では、導入の部分で「地図帳の使い方」、それから「地域の特色を捉えるポイント」の部分で地図帳の基本的な使い方とか、それから読み取り方、丁寧に説明しています。円滑に使える工夫がなされているということを感じました。

○委員長 ありがとうございます。ほかによろしいですか。

皆様から意見開陳をしていただきました。意見の中、あるいは調査研究報告書、また区の意識調査結果から捉えた本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「帝国書院」を支持する声が多いように思います。「帝国書院」を採択しようと思いますが、よろしいのでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして、数学の教科書についてご意見を伺います。

指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「東京書籍」を採択しております。前回の教科書採択の採択理由につきましては、第1に「数学の研究」、「生活と数学」、「数学の歴史」、「数学パズル」は、生徒の興味・関心を高められる。第2に「かけ足問題」、「基本のドリル」、「いろいろな問題」と楽しく学ぶ

教材が多く取り入れられ、個に応じた指導ができる。第3に節末に基本の問題、章末に問題A・B、巻末には振り返りや発展の問題があり、生徒の実態に応じて活用できる。第4に生徒の学力状況やつまづきを考慮して、「まちがい例」を載せたり、「もっと練習」の追加問題を載せたりして、習熟度別指導に配慮している。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。前回の採択理由を今、指導室長からいただきました。

私がちょっと気になりましたのは、いわゆる「かつしか教育プラン2014」におきまして、学校間連携の推進として、小中の連携教育の推進が述べられております。そういった点で意見をいただけますでしょうか。

松本委員。

○松本委員 葛飾区では昨年度の小学校の教科書採択において、算数は「東京書籍」を採用しました。数学は小学校の算数とのつながりを非常に重視していく教科だと考えます。小学校と中学校の指導における円滑な接続は欠かせません。指導内容に直接的に結びつく教科書においても、その接続は重要になってくると思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 小学校からの接続という点では、各社とも小学校からの学習の変化に対応できるような手だてがされていると思います。ノートづくり方については、どの社も解説を載せています。また「学校図書」、「教育出版」、「啓林館」、「日本文教出版」には発表の仕方であったり、学びの広げ方なども掲載されていて、中でも特に「学校図書」が数学的な考え方として三つの方法が載せられているところなどがよいと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 「数研出版」の巻頭にあります「出発前のクイックチャージ」というのがあるのですけれども、それは小学校の算数や、または前学年での学習を確認してから新しい内容に入ることができるような工夫がなされていると思います。

○委員長 ありがとうございます。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 葛飾区、本区で実施した学習意識調査によりますと、学年が上がるにつれて算数・数学への興味・関心が極端に落ちていくという実態がございます。それに応じて理解度は低くなることもあると思います。そうした実態への対応を考えなければいけないのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 興味・関心を引く要素の一つに、自分たちの生活とのつながりに気づくということがあると思われます。「啓林館」の「マスマナビック」は、その単元にかかわりのある既習事項の復習や日常生活と各章の学習を結びつけるような問題などが掲載されていまして、つまずきのある生徒や数学に対する興味・関心をちょっと高める必要がある生徒にとっては、とてもいいと思います。

また、「大日本図書」にある「社会にリンク」や巻末の「マスマフル」は、学んだことの意義や実生活とのつながりですね、数学と社会のつながりなどを感じて、数学を学ぶことのよさを実感できるのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 数学のおもしろさを生徒が実感するためには、やはり日常生活との結びつき、生活の中に生かされている数学への気づきが重要な要素の一つだと考えております。特に「東京書籍」の巻末資料は、「社会とつながる」、「教科とつながる」、「数学を広げる」などの項目に分けて身近なところで応用されている数学が取り上げられており、生徒の数学に対する興味や関心を高めるものだと思っております。

○委員長 ただいま各委員からありました。私もそう思う点がございます。数学的な活動を通して、数学のおもしろさに触れることも興味・関心を高める手だての一つだと思っております。また、学習指導要領にございます数学科の目標にも、「数学的活動の楽しさや数学のよさを実感し、それらを活用して考えて判断したりしようとする態度を育てる」と明記されております。数学的活動を通して実感的な理解は生徒の数学に対する興味・関心を高めるためにもとても大切な役割であると思っております。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 数学の楽しさを実感させることも大切だと思います。発展的な課題に挑戦することで、数学の深さに触れ、探究心を育てることはできると思います。発展的な内容が充実しているのは「啓林館」、「数研出版」、「大日本図書」だと思います。基礎基本の充実はもちろん重要でございますが、子どもたちにはそうした発展的な課題にも触れさせたいと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 確かに発展的な課題への取組みも大事だと思います。しかし生徒が数学に興味・関心を持つのも重要な要素の一つでありますし、「わかった」、「できた」という実感することができるような点にも重要さがあると思います。達成感は子どものやる気を支えます。小さなステップを一つ一つ乗り越えていくという経験がそれぞれ生徒の自信に私はつながっていくと、そしてその自信が次の課題の意欲にもつながっていくところというのは、とても大きいことだと

思っています。葛飾の子どもに自信と誇りを持ってもらいたい、そして自己肯定感を高めていくということが次の課題に向かう気力に私はつながっていくと思っています。

お話のあった各社の発展も確かにすぐれていると思うのですけれども、生徒の実情を考えると、まずはわかりやすさ、そして基礎力の充実を柱にしたことで意欲の向上に私はつながっていくと考えています。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 実際の教育現場のことを考えますと、「葛飾教師の授業スタンダード」に合ったものを教科書とすることが、実際に生徒にわかりやすい授業づくりをする先生方にとってもよいと思います。「葛飾教師の授業スタンダード」には、見通しを持った学習ができるように構成し、つまずきにも配慮している「東京書籍」が最も適していると考えております。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 「東京書籍」は構成の上で、基本的な流れが課題を提示する「Q」、それに続く「例」、「たしかめ」、「問」、「節末問題」、「章末問題」となっており、複層的に定着が図れるようになっております。中でも「問」の前の「たしかめ」は、そこで学習した基礎事項の確認を丁寧に行うためのものとなっております。そのため本区の実態に合っているのかなと感じました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 都立入試を見据えたときにも、このわかりやすさは生きてくるというふうに私は思っています。そうした観点で見ると、「東京書籍」は生徒のつまずきへの対応、そしてスモールステップの設定、そういった授業を意識した構成になっているのではないかなど、そういう点ではとてもすぐれているなというふうに思っています。

○委員長 ありがとうございました。各般にわたりまして皆様方からご意見をいただきました。また調査研究報告書、本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、今、各委員からいただいた「東京書籍」を支持する声が多いようなので、「東京書籍」を採択しようと思いましたが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございました。

引き続きまして、理科の教科書についてご意見を伺います。

指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「啓林館」を採択しております。前回の教科書採択の採択理由につきましては、第1に別冊として「マイノート」がついており、基礎的な内容が身につくように工夫さ

れている。第2に「ふり返り」、「単元のねらい」、「学習のまとめ」、「力だめし」が設定されていて、見通しを持った学習が進めやすくなっている。第3に理科で大切な「疑問をもつ」から、「結果を考察し、発表する」までのプロセスを興味深くわかりやすく学習できるよう工夫している。第4に学習した内容と日常生活や社会とのつながりを紹介し、理科の有用性を実感させるよう工夫している。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。ただいま前回の採択理由を指導室長から述べていただきました。これに関しましての意見を求めたいと思います。

竹高委員。

○竹高委員 私は防災や自然災害に関する記述について、比べてみました。「東京書籍」が最も多く、「大日本図書」、「学校図書」、「啓林館」が続いておりました。どの教科書についても東日本大震災について触れておりますけれども、中でも引き続き問題となっております放射線の被害について触れているのは、「東京書籍」と「学校図書」でした。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

天宮委員。

○天宮委員 「学校図書」につきましては、御嶽山や西之島新島についても触れているなど、新しい情報も入っております。この点では「学校図書」がすぐれていると思います。

また、防災、自然災害に関する教育の重要性は、学習指導要領にも述べられているところです。この観点についての記述の豊富さ、観点の多さから見ると「東京書籍」、「学校図書」の2社がよいと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 私は単元の配列に注目いたしました。指導の順が年間指導計画作成の際に自由に並べ変えてできるようになってはおりますが、葛飾区では若手の教員も多く、教科書の配列が学習の順になっているものがよいと思います。実物に触れて観察を行うことの重要性から見ますと、葛飾区において花の咲く時期である1年生の最初に花のつくりなどの植物について学習ができるように、その単元が一番前に載っている「啓林館」、「大日本図書」、「東京書籍」がよいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 子どもが本来持っている感性豊かな中学生のこの時に、思考力、判断力、表現力の基本を定着させ、科学する喜びや壮大な宇宙の広がりやロマンをかき立てるワクワク感を体得させることも理科教育の大事な視点だと思います。その意味では、「大日本図書」、「啓林館」がよいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 現在、社会が抱える大きな問題の一つに、環境問題があります。この問題を考えたときに、エネルギーに関する取り扱いは重要であると思います。5社の中で一番広範囲にわたってエネルギーの問題に触れているのは「教育出版」でした。これからの環境保護のかぎを握る再生可能エネルギーについても、さまざまな視点から触れ、また循環型社会の形成についても説明しております。

また、「啓林館」は、地球温暖化対策とのかかわりについても触れておりました。

○委員長 ありがとうございます。ほかの視点で何かご意見いただけますでしょうか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 本区に行っている意識調査によりますと、中学生の理科に対する興味・関心が急激に低くなっている現状が見られます。生徒が科学のおもしろさを実感し、事象に対する興味を起こさせるような教材が必要だと考えます。「啓林館」の教科書にある「部活ラボ」の記述は、生徒の身近にあり、なおかつ興味を持って取り組んでいることと科学とのつながりを実感させるための教材が掲載されております。

○委員長 ありがとうございます。確かに今、委員がおっしゃいましたように、本区の学習意識調査に見られる中学生の理科離れというのは、本区にとって大きな課題であると思います。理科への興味・関心を高めるための取組みについて、つながる教科書という視点では何かご意見をいただけますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 中学生の理科離れの問題が今、出ましたけれども、私は理科の授業において観察・実験の取組みが重要であるというふうに思っています。理科の楽しさを感じるということは、観察や実験が非常に大きな役割を私は果たしていると思っています。実際に現象の変化を目の当たりにすること、そしておもしろさに気づくこと、そういうことが理科好きにつながっていくのでは。その点では中学校の理科の授業には、大きく改善すべき点があるというふうに私は感じています。中学校には、多くの実験課題に触れて、そして実際の操作を目にしたり、観察を通して本物にたくさん触れたりしていくことがとても大事なことだろうというふうに思って、授業づくりをしていってほしいという願いを持っています。実物に触れたり、実際に操作をしたりすることで、生徒の理解が単なる知識ではなくて、実感を伴った理解につながっていくものであると思っています。

学習指導要領にも実験・観察を通じた理解が述べられています。中学校の理科の授業を実験や観察を柱として生徒の理解へと導く授業に改善してほしいというのが私の願いです。

○委員長 確かに授業で学習する内容を実感を持って理解をするということは大切であろうと

思います。そのためには生徒が多くの実験に触れていくことが重要であろうと思います。そういった観点で参りますと、観察・実験の掲載数の多さは「大日本図書」、「東京書籍」、「啓林館」の順番でありました。

とりわけその中でも、生徒が主体的に実験の楽しみを味わうことができる第1分野での実験の数が多し「東京書籍」がいいのかという思いがいたしました。

ほかにどなたかございますか。

○杉浦委員 今、観察や実験というお話がございました。観察や実験の豊富さはやはり重要な視点だと思います。都立の入試問題を見たときには、観察や実験からの結果や考察からわかった知識を問う問題が多く含まれていると思います。多くの観察・実験に触れておくことが考える幅が広がると思います。「東京書籍」は、章末ではなく節ごとにもまとめを設けており、単元の授業について「めあて」を示し、学習した内容をまとめとして確認をするということで、学習の定着を図ろうとする、「葛飾教師の授業スタンダード」に沿った展開しやすい構成にはなっていると思います。

○委員長 ありがとうございます。今、各委員がおっしゃいましたいわゆる実験をするためには目的や手段、結果の見方や考察の方法が生徒の主体的活動を阻害することなく、適度にわかりやすく書かれているという点が非常に大切だと思ってございます。そういった視点でのご意見、いただけますでしょうか。

竹高委員。

○竹高委員 その点では、「東京書籍」は観察や実験の流れなどを順を追ってわかりやすく示していると思います。実験に必要な基礎操作の解説、実験の方法について図や写真が多く、ポイントを絞ったわかりやすい解説が載っております。生徒にとっては迷いのない記述になっているのではないのでしょうか。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

教育長、お願いします。

○教育長 実験する上で、安全に対する配慮というのは、これは欠かすことができないことだと思っています。各社とも安全に対する指導については言及しているところがあるのですが、主体的な学習をするときに観察・実験の説明を生徒が見て、その注意点がはっきりとわかるということが私は重要であるというふうに思っています。その点でいいますと、「東京書籍」と「大日本図書」、そして「学校図書」は観察・実験の中での安全における注意事項がとても目につきやすい、色遣いや構成がなされているなどというふうに思います。その中で特に「東京書籍」が、どの点に注意をすべきかという項目がマーク化されているというようなところで、生徒への配慮を促しやすいと私は思いました。

○委員長 ありがとうございます。よろしいでしょうか。

皆さんからいただいたご意見、あるいは調査研究報告書、また、区の意識調査結果から捉えた本区の生徒の実態等総合的に考えますと、「東京書籍」を支持する声が多いようなので、「東京書籍」を採択しようと思いたしますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして、音楽(一般)の教科書についてご意見を伺います。どなたかご意見ございますか。

指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「教育芸術社」を採択しております。前回の教科書採択での採択理由につきましては、第1に歌唱共通教材は全曲「心の歌」で取り上げられ、他の教材と明確に区別をつけ、ピアノ伴奏つきで掲載されている。第2に小学校での学習内容や前の学年で学習した内容などを繰り返し学習することができるように工夫している。第3に「ここが分かればグレードアップ」というコラムなど、音楽の特徴やよさを感じ取れ、表現活動も行えるよう工夫している。第4に我が国の伝統文化など音楽にかかわる文化についても幅広い視点から味わうよう工夫している、以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。前回の採択の理由を指導室長から述べていただきました。

各委員からの意見を求めたいと思います。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 「教育芸術社」の1年生に掲載されております「マイボイス」の内容がよいと思いました。理由としましては、正しい呼吸とバランスのよい姿勢で自分の声をつくる、出すなど、合唱のときの基本となる歌声づくりの方法がイラストを交え、丁寧に紹介しておりました。みずから進んで合唱に取り組む葛飾の子どもたちの育成を考えると、適切だと思います。

「教育出版」でございますが、組曲「展覧会の絵」が掲載されております。この曲が素晴らしいところは、作曲家のムソルグスキーがガルトマンの「展覧会の絵」の絵画を見て、そしてその絵画から想像力を膨らませて作曲をしたところです。教科書の中にガルトマンの何枚かの絵も掲載されておまして、子どもたちが絵画と音楽を連想して鑑賞できるところが非常によいと思いました。美術の鑑賞と音楽の鑑賞について、想像力を豊かにし、発展的に学ぶことができます。また、国語科の鑑賞の学習との関連も図ることができるので、非常によいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 私は「教育芸術社」、「教育出版」の2社ともさまざまな工夫がされていると思います。「教育芸術社」についてですが、「音楽学習MAP」が全学年共通となっています。「歌唱」、

「創作」、「鑑賞」と分かれており、子どもたちにはわかりやすい構成になっています。一方、教える側としても中学3年間を見通すことができ、計画的に授業を進めることのできるメリットがあります。単元のねらいがよくわかり、バランスのよい学習活動が期待できます。「心の歌」と区別されており、見開き1ページに掲載され、紙面を有効に使い、大きさも適切と考えます。

音楽の授業で大切な発声のポイントをわかりやすく図に示しているので、「教育芸術社」を推薦いたします。

○委員長 ありがとうございます。ただいま松本委員から「教育芸術社」を推薦というお言葉をいただきました。ほかにどなたかご意見ございますか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 葛飾の中学生が音楽に親しむためには、音楽の楽しさが感じられる教科書がよいと思います。「教育出版」の教科書は、全体的に色鮮やかできれいな印象がございました。「教育芸術社」は楽譜が掲載されている部分のベースが白なのでとても見やすいと思いました。葛飾区の授業を考えますと、めあてやまとめが明記されていまして、主体的な取組みに期待できるのではないかなと思います。具体的な内容といたしましては、音楽の約束事が明記されており、小学校の音楽との授業の違いを認識しやすい構成になっていると思います。

○委員長 ほかにどなたかご意見をいただけますか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 調査をした結果ですが、2社とも譜面、イラスト、写真などは精選されております。そう考えますと音楽は子どもたちの集中力により授業の深まりが異なる教科の一つだと認識しております。音楽の先生には現行の教科書の楽曲について研修を深めていただきたいと、そう思っております。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見をいただけますか。

教育長、お願いします。

○教育長 子どもたちには仲間とともに声を響かせるために、コミュニケーションを図り、音をつくっていく過程を楽しみ、すばらしい合唱・合奏を披露する喜びを感じてほしいと願っています。「教育出版」の教科書は、圧倒的に明るくて魅力的です。そしてページをめくると歌詞の背景に写真の色があって、そしてイメージを膨らませるには効果的であります。視覚に訴えることによって、子どもたちにとって親しみやすいものではないかなと思います。

「教育芸術社」についてですが、学習のめあて、それから学習の課程、まとめが明記されているところが葛飾の目指している教育に適しているのではないかと考えています。私は学習のめあて、まとめの構成されている「教育芸術社」がよいのではないかと考えています。

○委員長 ありがとうございます。私のほうから一言。私は我が国の伝統文化、音楽にかかわる文化につきまして着目をいたしました。「教育芸術社」に関しましては、郷土芸能や我が国

や郷土の四季などの自然の美しさを感じ取ることができる写真が掲載されております。また、日本の文化の一端を外国の方に紹介できるような生徒の育成のためには、大切な学習の一つだという理解をいたしました。

ほかにどなたかございますか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 やはり楽しく自主的に学ぶことができる「音楽学習MAP」というものが掲載されている「教育芸術社」がよいと思います。

○委員長 ありがとうございます。皆様から各般にわたってのご意見をいただきました。皆様方の意見を踏まえ、また調査研究報告書、区の学力調査結果等を捉えた本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「教育芸術社」を支持する声が多いように判断いたします。「教育芸術社」を採択しようと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして音楽(器楽合奏)の教科書についてご意見を伺います。どなたか。

指導室長。

○指導室長 現在は「教育芸術社」を採択しております。採択理由でございますが、第1に琴、三味線、太鼓などの和楽器について多くのページを割いている。第2に小学校で習ったリコーダーから入り、いろいろな楽器へと発展し、各楽器がバランスよく配置され、奏法が見やすくわかりやすい。第3に楽器を28種類と幅広く取り上げており、生徒がより楽器に興味を持ち、器楽合奏の学習活動に関心が持てるようにしている。第4に演奏家の写真とコメントがあり、曲に用いられた楽器を紹介するなど、生徒が楽器や学習活動に関心を持つように工夫されている。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。ただいま指導室長のほうから前回の採択理由、4項目にわたってご提示いただきました。各委員からの意見を求めたいと思います。どなたかございますか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 2社ともに琴やギターを取り入れまして、昔の教科書と比較しますと子どもたちの興味や関心を引く工夫がされていると思われま。

「教育芸術社」は「音楽学習MAP」で学習の道筋を器楽合奏と創作という二つに分けて明記しております。やはり学習の見通しを持つということは、音楽の興味・関心を高めることにつながるのではないのでしょうか。

「教育出版」の巻末にありますリコーダーの運指表や、ギター&キーボード表は、器楽演奏が難しいなと感じている子どもたちにとっては非常に参考となり、音楽に親しむきっかけを与

えてくれると思いました。

○委員長 ありがとうございます。私自身は日本の伝統文化という観点から教科書を検討してみました。「教育出版」、あるいは「教育芸術社」の掲載内容を調査いたしますと、資料や写真の吟味がなされ、それぞれ工夫が凝らされております。共通する点が多いと感じましたけれども、特徴的な部分についてご意見をいただきたいと思いますが、いかがですか。

杉浦委員。

○杉浦委員 中学校の多感な時期に、三味線や尺八などの和楽器に触れる機会を設けることは、大変意味のあることと考えます。和楽器の知識を習得し、日本の文化について音で体感することにより、情操面の成長により影響を与えたいと思います。グローバル社会を生き抜く子どもたちには、自国の文化を理解し、誇りに思う人になってほしいという期待を込めています。多くの和楽器が紹介されており、全部授業で取り上げることは難しいと思いますが、興味や関心のある生徒は地域の方に聞き、独学で親しむ機会があると思います。生涯学習につながる上でも多くの和楽器と詳細な音符が掲載されているところがよいと思いました。

「教育芸術社」、「教育出版」とともに篠笛が掲載されております。うれしいことに区内の新小岩で篠笛を作製していらっしゃる方がおいでになりますので、とても親近感が持てました。

○委員長 ありがとうございます。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 2社ともに巻頭に「楽器と出会う」というページがございます。有名な演奏家の音楽に対する熱い思いが掲載されておりまして、子どもたちの音楽に対する意欲が向上し、授業への集中力が高まるきっかけに利用できると考えました。調査をしますと教科書の共通なところも見られますが、現行の「教育芸術社」、そのほうがよいかと思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見。

松本委員、お願いします。

○松本委員 2社の共通点は最初にアルトリコーダーを扱っているところです。小学校との円滑な連携を意識していることがわかります。また、第一線で活躍している音楽家を選んでおり、子どもたちの授業に対する意欲を高める努力が見られます。生涯にわたって音楽を学ぶきっかけが子どもたちにたくさんあったほうがよいと思います。

「教育芸術社」は、打楽器が取り上げられており、よいと感じています。私は現行の「教育芸術社」を推薦いたします。

○委員長 ほかにどなたか。

教育長、お願いします。

○教育長 「教育芸術社」、「教育出版」とともに多様な楽器が掲載されていると思います。私は器楽の教科書は音楽一般の教科書と同じ編集方針によるものであるほうが、子どもたちは使い

やすいのではないかとというふうに考えています。学習の目標、課程、まとめが明確に示されている「教育芸術社」がよいのではないかなというふうに思っています。

○委員長 ほかにどなたか、よろしいですか。

皆さんからただいただいたご意見、あるいは調査研究報告書、区の意識調査等の結果から捉えた本区の児童の実態を総合的に考えますと、「教育芸術社」を支持する声が大変多かったように思います。「教育芸術社」を採択しようと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして、美術の教科書についてご意見を伺います。どなたかご意見ございますでしょうか。

指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「日本文教出版」を採択しております。採択理由でございますけれども、第1に「学習のねらい」がそれぞれの題材に掲載され、題材の意図がよく理解できる。第2に「美術との出会い」、「感じる心があるから」で構成され、身近なものを見つめ、表現することを楽しみながら学ぶことができる。第3に「ピカソ」、「ゴッホ」、「ダリ」など、世界でも有名な画家の作品が多く紹介され、生徒の美術への関心を高めることができる。第4に生徒の作品と作家の作品が数多く載っているため、生徒の興味や創造意欲がかき立てられる。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。それでは各委員からの意見を求めたいと思います。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 3社とも世界でも有名な画家の作品や日本の名画が多く紹介されておりまして、生徒の美術への関心を高められると思います。資料のページなどでは、色彩についての解説がありました。学習を進めていく上で、生徒が参考にできる資料提示だと思います。また、基本的な技法についての解説もあり、よいと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 「葛飾教師の授業スタンダード」の点から、どの教科書も単元ごとにねらいの提示があり、生徒が主体的に学習を進めることができると思います。また、安全面への配慮がなされていると思いました。作品を制作する上での安全について注意点を示しています。彫刻刀や電動のこぎりの扱い方についても詳しく説明されており、とても重要なことだと感じました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 「日本文教出版」の1年の教科書の巻頭では、「図画工作、そして美術へ」という

メッセージがあり、小学校と中学校の学習の連携が図られていると思います。作者の言葉から題材の意図を感じることができ、作品をより身近に感じられる工夫がありました。

○委員長 ありがとうございます。私のほうからも一言述べさせていただきます。「開隆堂出版」、「日本文教出版」に本区、葛飾区の生徒作品が掲載されておりました。生徒の制作意欲を高めるという点で評価ができるものではないかと考えられます。加えて全体の構成、あるいは作品のバランスなどを考慮いたしますと、「日本文教出版」がよいと思いました。

ほかにどなたかございますか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 「開隆堂出版」についてですが、現代アートの作品が多く掲載されておりまして、それぞれ生徒の興味・関心を高める工夫がされていると感じました。「開隆堂出版」の2・3年生の教科書では、現代アート作品を題材にして、美術を通して学ぶ大切なことについて、生徒にメッセージを送っている点もよいと思っております。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 私は「光村図書」に作品の温かさというのを感じました。また、現代の身近なアートとしてファッションについても扱っていきまして、おもしろいなと感じました。映像メディアの活用についても詳しく解説があり、非常に参考になると思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 美術の教科書で重要なのは、私はインパクトだと思っています。生徒が教科書を見て、つくってみたいとか、やってみたいとか、そういうふうに思えるような、制作意欲を高めるようなすばらしい作品が掲載されていることが、私は大事だと思っています。作品のすばらしさ、全体の構成、バランスなど、総合的に考えると「日本文教出版」が葛飾の子どもにとって適切であるなというふうに思っています。生徒がより多くのすばらしい作品に触れて、意欲的に学習に取り組んでいってくれたらいいなと思っています。

○委員長 ありがとうございます。いかがでございましょうか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 先ほど出ましたインパクトという点では、「日本文教出版」の2・3年生の上巻で、和紙を使っています。浮世絵の作品のすばらしさを引き立てさせるだけでなく、実際に紙質の違いを生徒が感じることができるのは、とてもよい工夫だと思いました。

○委員長 ありがとうございます。今、委員からもございました「日本文教出版」はやはり作品のレイアウトが非常に工夫されており、また躍動感が感じられました。生徒の興味・関心を高める上でも有効な手だてであろうと感じました。

ほかにどなたかございますか。

天宮委員。

○**天宮委員** 先ほどの委員長の話とも関係しますが、「日本文教出版」は他社に比べて幅が2センチほど広い紙面になっております。ワイドにさまざまな写真が紹介されておりますので、見やすく、生徒の制作意欲を高めることにつながっているのではないかと思います。

○**委員長** ありがとうございます。ほかによろしいですか。

皆さんからいただいた意見、調査研究報告書から捉えた本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「日本文教出版」を支持する声が多いように感じられます。「日本文教出版」を採択しようと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○**委員長** ありがとうございます。

続きまして、保健体育の教科書についてご意見を伺います。どなたかご意見ございますでしょうか。

指導室長、お願いします。

○**指導室長** 現在は「大日本図書」を採択しております。採択理由でございますけれども、第1にA B判の大きさで見やすく、全体が明るい色を使い、イラストや写真がきれいにデザインされている。第2に資料が豊富に掲載されており、「ミニ知識」、「リンク」、「トピックス」などは学習内容を深め、学習意欲の向上につながる。第3にどの章も「今日の課題」、「考えよう」、「本文」、「学習を生かして」の構成になっており、学習の流れが明確である。第4に巻頭にスポーツ選手等の写真が大きくたくさん載せてあり、興味・関心を持てるように工夫している。以上の4点が挙げられておりました。

○**委員長** ありがとうございます。では、委員長から一言述べさせていただきたいと思いますが、ご案内のように中学生は非常に多感な時期であります。どの教科書も性に関することや飲酒・喫煙、あるいはSNS、ソーシャル・ネットワーク・サービスを扱って、心のバランス感覚が高められる教科書であるという感想を持ちました。こういった視点でのご意見がございましたでしょうか。

竹高委員、お願いします。

○**竹高委員** 喫煙の問題に対しまして、肺の断面写真などが掲載されていて、生徒にインパクトのあるつくりというふうになっているのは「東京書籍」でした。次によかったのは、図表やデータなどがしっかりとしていた「大修館書店」だと思います。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかございますか。

天宮委員。

○**天宮委員** 私は保健分野の情報量が多いところや参考となるウェブサイトも多いということ

で、興味を持った生徒がさらに知識を深める配慮がなされている「学研教育みらい」のつくりがよかったと思っております。また、メンタルヘルスに関しましては、どの社も取り上げておりますが、見やすさや指導のしやすさという観点で見ますと、「東京書籍」と「大日本図書」がわかりやすいつくりになっておりました。両者を比較しますと、すっきりとしたレイアウトで学習しやすい「大日本図書」がよいと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 自転車の安全運転についてはどの社も掲載しておりました。特に「学研教育みらい」と「東京書籍」に関しましては、自転車安全利用五則をきちんと掲載しております。また「大修館書店」は、中学生の交通事故では自転車での事故が多いということを掲載している点が、子どもを交通事故から守るということで評価できました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

教育長。

○教育長 私は「大修館書店」の「クエスチョン」は生徒への学習課題を提示する文章としてよいものだなと思えました。やはり見やすさ、指導のしやすさ、そして考える場面の示し方がよいのは「大日本図書」だなと思えました。

また、勉強する上で資料の多さは重要だと私は思っています。特に薬物乱用防止などについて重視しているなど感じたのは「大日本図書」だと感じています。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますか。

竹高委員。

○竹高委員 つくりの細やかさや美しさ、キーワードの提示などでは「東京書籍」がよかったのですけれども、総合して考えてみますと指導のしやすさやわかりやすさという点で、「大日本図書」がいいのかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたか。

松本委員、お願いします。

○松本委員 どの社も1時間の授業を見開きで指導できるつくりとなっていて、指導しやすく工夫がされております。特に「大日本図書」は「学習課題」が明確で、「学習を活かして」が生徒を考えさせるつくりとなっていて、よくできていると思えました。また、「大日本図書」の「ミニ知識」も生徒の興味・関心を高めることができるものであると思います。

○委員長 ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

皆さん方からいただいた意見、あるいは調査研究報告書、区の学力調査結果から捉えた本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「大日本図書」を支持する声が大変多く感じております。「大日本図書」を採択しようと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして、技術の教科書についてご意見を伺います。どなたかご発言ございますか。
指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「開隆堂出版」を採択しております。採択理由でございますけれども、第1に技術と環境とのかかわりなど、環境型社会について考えながら学べるようにしている。第2に学習の目標や振り返りなどのマークを利用して、内容のねらいを明確にしている。第3に実習例が多く掲載されており、生徒や学校の実態に合わせて選択することができる。第4に情報モラルや情報セキュリティについて6ページにわたって説明し、わかりやすく整理されている。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。ただいま現在、採択されている事由が指導室長から伺えました。まず、私は対象となった3社を検討した上でやはり重視したことは、実技において子どもたちが使いやすいかということと、特に今、ご報告がございましたけれども情報化社会に対応できる知識の習得という点に着目をいたしました。

各委員から何かご意見いただければと思いますが。
松本委員、お願いします。

○松本委員 木材加工や金属加工などの実習が多い教科なので、コンパクトな教科書がよいと考えます。中でも「開隆堂出版」は、さまざまな実習の例が載っており、生徒の実態に合わせて選択でき、子どもたちの発想する力を伸ばすことができると考えております。エネルギー変換の単元で学習する電気機器の知識や技能は実生活に役立つと思います。

○委員長 ありがとうございます。今、松本委員から実生活に役立つという、そういった部分の視点も大事だと思います。ほかにどなたか。
杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 「教育図書」の中でございますが、興味・関心を高める工夫がされていると思います。章末問題が示されており、自主的に学習できるようになっています。また、動物を飼育する技術が取り上げられており、命の大切さを考える上では道徳とも関連が図れ、幅広い学習活動の可能性を感じました。また、食を楽しむための記述がございました。

「開隆堂出版」は、情報に関する技術について12ページにわたっております。具体的に申し上げますと、情報通信ネットワークの危険性、情報セキュリティ、モラル、人権や個人情報の保護に至るまで言及されており、現代を生き抜く上で子どもにとって大切な知識ですので、ぜひ身につけてもらいたい力です。子どもたちに身につけてほしい情報量を考えますと、「開隆堂出版」がよいかと思えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○**天宮委員** 表紙でインパクトがあったものは、まず「東京書籍」です。今後の技術の進歩がイメージできるような未来のロボットが掲載されております。また「未来をつくるテクノロジー」というサブタイトルがとても印象に残っております。

さらに「開隆堂出版」は、巻頭の「生活や社会における技術の役割」という中で、技術の発展と環境問題を取り上げております。子どもたちが21世紀をどのように生きていくべきかを考えさせる構成になっているのが大変よいと思えました。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

竹高委員、お願いします。

○**竹高委員** 「教育出版」は、子どもたちにとってわかりやすい表記がされています。例えば実習ではのこぎりの使い方の基礎技能が丁寧に掲載されていまして、実習の時間を有効に使うことができるのではないかと思います。

「東京書籍」は、実習の失敗例を載せていまして、子どもたちが教えられたとおりに実行するだけではなくて、自分で思考判断するように促しているところがいいと思います。

「開隆堂出版」は、人生の基礎基本が全て学べるといってもいいくらいの情報が集まっています。特に情報通信ネットワークの危険性や知的財産、著作権の保護にまで言及している点がよい点だといえます。

私は総合的に見たところ、現行の「開隆堂出版」がよいと考えます。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

教育長、お願いします。

○**教育長** 自分の手でものをつくるという機会が少なくなっている現代において、葛飾の子どもたちに日常生活の中で生活力を高めてほしいなというふうに願っています。実習の時間を確保して、技術の実技で子どもたちに道具を用いる力だとか、ものをつくる喜びという、そういうものをできるだけ味わわせていきたいということを願っています。

「開隆堂出版」は、安全に作業を行うための心得と、それからコンピュータを操作するときの注意が示されています。実習については具体的な作業方法や図やイラストによってわかりやすく説明がされています。そして情報化社会に生きる子どもたちのことを考えますと、「開隆堂出版」の学習内容が葛飾の子どもにとって適しているのかなと思っています。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかよろしいですか。

各委員からいただいたご意見、あるいは調査研究報告書、さきの教育委員会での報告のあった本区の児童の実態等を総合的に考えますと、「開隆堂出版」を支持する声が多いように判断いたします。「開隆堂出版」を採択しようと思えますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

続きまして、家庭の教科書についてご意見を伺います。どなたかご意見ございますでしょうか。

指導室長、お願いします。

○指導室長 現在は「東京書籍」を採択しております。採択理由でございますけれども、第1に伝統文化のマークや「生活アイ」、「ひとくちメモ」の豆知識の紹介など理解しやすいように工夫されている。第2に小單元では具体的な目標と学習の到達状況を確認するチェックがあり、学習の見通しを持たせることができる。第3に実習や生活実践などに必要な基礎的な技能をわかりやすい図や写真で載せている。第4に社会の一員としての視点や家庭の中での仕事や役割分担について意識させていく内容になっている。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。家庭全般を通しまして、実習や生活実践の技能の定着と社会の一員としての視点を踏まえて、ぜひご意見をいただきたいと思います。

松本委員。

○松本委員 3社ともそれぞれ子どもたちが興味・関心を持つような構成になっておりました。また、実技については、写真により手順が丁寧に示されていてわかりやすいと感じました。「東京書籍」の巻頭では、自助、公助、共助について詳しく解説しています。災害時に中学生がその知識を生かして地域で活躍してほしいと思います。私は現行の「東京書籍」でよろしいと思います。

○委員長 私のほうから一言、よろしいでしょうか。ただいま松本委員がおっしゃいました現行の「東京書籍」についてでございますが、学習内容に興味を持てるような構成がなされていると思えました。また一方、「教育図書」では学習を振り返るページがあって、学習が終わったら単元のまとめを子ども自身が書き込めるところに利点があるように捉えました。

ほかにどなたかございますでしょうか。

杉浦委員、お願いいたします。

○杉浦委員 何社かお話ししたいと思います。「教育図書」は、年中行事の取り上げ方がとてもよいと思えました。それは日本の伝統文化についてイラストを用いて生徒にわかりやすく工夫がなされているところがとてもよかったと思えました。

「開隆堂出版」につきましては、ケニアの環境問題に取り組んでいたマータイさんのエピソードを取り上げ、日本の文化、ライフスタイルを「もったいない」という言葉で評価していることがとても印象に残りました。

「東京書籍」でございますが、「自立と共生を目指して」と表紙に記載されてあるとおり、学習目標が一目でわかるようになっております。食の安全性についても触れている点がとてもよかったと思えます。

今のところ私は「東京書籍」と「開隆堂出版」がよいと考えております。

○委員長 ほかにどなたかございますか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 「開隆堂出版」ですけれども、技術と同様に情報量の多さというのが特徴であるなどというふうに感じました。

「東京書籍」については、言葉についてのページがありまして、子どもたちが疑問に思ったことを解決するヒントが隠されていました。調理実習のページでは、新しい写真や図が選ばれており、また、郷土料理についても詳しく触れております。中でも写真の色彩がとても美しく、食への関心が高まる工夫がされていると思います。ですから私は「東京書籍」がよいのではないかと考えます。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

天宮委員。

○天宮委員 家庭という教科については、現代の社会生活を考えると男女を問わず日常を送る上で大切な学習と考えております。まずカラフルなデザインの「東京書籍」の装丁だと、教科書を手に取り、興味を持つと考えております。また「東京書籍」は、教科書の記載内容のデザインやレイアウトなどにインパクトがありまして、実技の写真やイラストの多さにも見やすさを感じております。また、毎日の生活が潤いのあるものにするためには、身の回りの環境をよくすることが大切です。そのことについて記載されているのが「東京書籍」だと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 3社の教科書の装丁を見ると、カラフルで明るいデザインというのが「東京書籍」だと思いました。写真でも野菜の色の鮮やかさとか、調理後の料理の手順、料理の完成品についてもとても魅力を感じました。特に魚の三枚おろしの写真が印象に残っています。調理実習の楽しそうな雰囲気を醸し出すということはとても大事なことだと思いますし、友達と調理をしてコミュニケーションを大切にするという感じもよく出ていると思いました。

最後に、消費生活の単元についてですが、3社ともに取り上げています。学習の進め方、まとめ方に注目してみると、「東京書籍」がいいのかなと思っています。

○委員長 ほかにご発言ございますか。

皆さんからいただいたご意見、あるいは調査研究報告書、さきの教育委員会での報告のあった本区の生徒の実態等を総合的に考えますと、「東京書籍」を支持する声が多いように判断いたします。「東京書籍」を採択しようと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

それでは英語の教科書についてご意見を伺います。どなたかご意見ございますでしょうか。
指導室長、お願いいたします。

○指導室長 現在は「学校図書」を採択しております。採択理由でございますけれども、第1に1年の巻頭において、小学校でなれ親しんできた活動に触れられており、小学校外国語活動との円滑な接続を図っている。第2に一般動詞から導入し、日常会話に近いコミュニケーション活動を展開することができる。第3に写真、イラストの色遣いがきれいで全体的にすっきりしていて見やすい。第4に題材が身の回りのことから、日本の伝統文化や国際理解、エネルギー問題まで発達段階を考えて選定されている。以上の4点が挙げられておりました。

○委員長 ありがとうございます。それでは委員の方からのご意見をお願いします。
杉浦委員。

○杉浦委員 英語はコミュニケーションのための道具だと思います。グローバル化の中で共通のコミュニケーションのツールとして必要だと思います。しかし英語を苦手と感じる生徒も少なくありません。苦手意識を取り除き、自分の将来のために今、磨いてほしいと思います。

聞く、話す、読む、書く、コミュニケーション能力の基礎を養うことについては、各社よく工夫されてでき上がっていると思います。ヒアリングになれること、文字と音を結びつけることが大切だと思います。

「教育出版」では、教科書本文と別冊の音声データをホームページより無料でダウンロードできるようです。限られた授業時間ですので、繰り返し音声でダウンロードできることは、家庭学習にとっても有効だと思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご発言ございますか。
天宮委員、お願いします。

○天宮委員 私は「三省堂」の教科書の構成に注目いたしました。「GET」のページの下半分には星マークでポイントと、その定着のためのドリルがついております。学習を確実に積み上げていけるのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますか。
松本委員、お願いいたします。

○松本委員 教科書構成の点では、「光村図書」の学期末に取り組む、「Go for it」もよいと思いました。これまで学んできた学習を生かして、例えば2年生では旅のしおりをつくったり、職場体験についてまとめたりする学習活動があります。これらを通して基礎学力が確実に身につくのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。今、松本委員がおっしゃいました基礎学力の保証という点でご意見をいただきました。そのほかにどのような観点で教科書をごらんになりましたでしょうか。ご意見がございましたらお願いしたいと思います。

教育長、お願いします。

○**教育長** 「東京書籍」ですが、3年生の巻末に、ノーベル平和賞を受賞したマララさんを取り上げていますね。ほかにも「東京書籍」は新しい情報を積極的に取り入れようということで、時代に合った教科書に仕上げているなという印象を持ちました。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

竹高委員、お願いします。

○**竹高委員** 教育長と同じく、私も「東京書籍」の題材に注目しております。特に3年生の資料に、「がまくんとかえるくん」が登場する「お手紙」の英訳版が掲載されているのですが、あのような心温まる作品を英文で読んで味わうことができるのはよいと思います。

○**委員長** ありがとうございます。ただいま両委員から題材についてというご意見をいただきました。その観点で参りますと私は「学校図書」の3年生で、アンネ・フランクの日記を取り上げられているというのがいいのかなと思いました。

ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

松本委員、お願いします。

○**松本委員** 私も同感で、「学校図書」の題材選びはよいと思いました。国際理解、環境保全、伝統文化等幅広く取り上げていて、生徒たちの視野を広げる構成になっているという感じを持ちました。

○**委員長** ありがとうございます。今、各委員から題材についてさまざまな意見をお出しいただきましたが、別の観点で検討を進めてまいりたいと思いますけれども、何かございますでしょうか。

教育長、お願いします。

○**教育長** 私は題材のよさに加えて、ぜひ高校受験という視点で教科書を検討していただきたいと考えています。そのような意味で、小学校からの接続が円滑に図られて、生徒たちがつまづくことなく中学校へ入っていけるというようなことも大事にしていきたいな。それからもう一つ、最初に話題になったのですけれども、基礎学力を確実に身につけるといふようなことも重視した教科書がいいのではないかというふうに考えています。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○**天宮委員** 私は「学校図書」がやはり小中の円滑な接続に十分な配慮がなされている点がよいと思っております。「プレ・レッスン」、または「レッツ・スタート」のページも充実してまして、生徒たちは小学校の学習を丁寧に振り返った上で、安心して中学の学習に入っていけるのではないかと思います。

○**委員長** ありがとうございます。ほかにどなたかご意見ございますでしょうか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 私も「学校図書」は小中接続の点がいいと思います。中学校英語に進む準備段階のページ数が多くて、イラストも豊富に配置してあります。それから身の回りのよく使う言葉から導入してあるので、なじみやすいのではないかなと思います。

高校受験という点で考えますと、「教育出版」は3年生の巻末付録がいいと思いました。「形容詞、副詞、比較変化表」や「不規則動詞変化表」は、高校受験に向けて生徒たちが復習をする際に非常に活用しやすいのではないかと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

松本委員、お願いいたします。

○松本委員 基礎学力の点で申しますと、本区の「葛飾教師の授業スタンダード」に合わせた教科書という観点も重要かと思います。こちらはどの教科書も工夫しています。中でも「学校図書」はCHAPTERの最初に、「このCHAPTERではこんなことができるようになります」と生徒に向けた言葉で明記されており、教師だけではなく生徒たちもめあてをはっきりと持って単元全体のゴールを見据えて学習に取り組めると思いました。

○委員長 ありがとうございます。そのほかとしましては今年度から特に注視されていますグローバル人材の育成という観点で教科書を検討してみるといかがでしょうか。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 その視点におきましては、どれも英語によるコミュニケーション能力の向上という目的があると思います。そういった観点で検討いたしますと「三省堂」は初めに天宮委員がおっしゃっていた点に加えて、単元後半の「ユーズ・スピーク」、「ユーズ・ライト」という発展学習が充実していると感じました。読み書きを定着させるための有効な工夫がされていると思います。また、「文法のまとめ」もわかりやすく整理されていると思いました。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 グローバル人材の育成という視点では、やはり英語によるコミュニケーション、特に話す、聞く、その力を高める目的があると考えております。そういう意味で考えますと、話す・聞く力を重視している教科書がよいと思います。調査研究報告書には、教材集が示されておりますが、それらを読み解いてみますと「話す」・「聞く」を重視している「開隆堂出版」もしくは「学校図書」がよいのではないかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかご意見いただけますでしょうか。

竹高委員、お願いします。

○竹高委員 私もその観点で、どれも話す・聞く力、特に話す力を高める目的があるのではないかなと思います。その意味で調査研究報告書の「話す」について、全体における割合を出し

てみました。すると「話す」力に重点を置いているのは「学校図書」と「教育出版」でした。区の施策との関連から考えますと、「学校図書」がよいのではないかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

教育長、お願いします。

○教育長 私も各社の教科書を読み比べて、さまざまなよさがありました。学習指導要領の改訂時期なども考慮しながら、総合的に考えると現行の「学校図書」を引き続き使うのがよいのではないかなと思います。

○委員長 ありがとうございます。ほかにどなたかございますでしょうか。

各委員からいただきましたご意見、とりわけ題材、あるいは接続という問題、それと学習指導要領の改訂時期というのを考慮して、また、調査研究報告書、区の意識調査結果等を加えた本区の生徒の実態等を総合的に判断してまいりますと「学校図書」を支持する声が多いようなので、「学校図書」を採択しようと思いますけれども、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。

以上で15種目の平成28年度使用中学校教科用図書が採択されました。

ここで各教科の種目順に採択する発行者名を確認いたします。

指導室長、採択結果の確認をお願いしたいと思います。

○指導室長 それでは採択教科用図書の発行者を確認させていただきます。

国語、光村図書。書写、光村図書。地理、東京書籍。歴史、教育出版。公民、東京書籍。地図、帝国書院。数学、東京書籍。理科、東京書籍。音楽(一般)、教育芸術社。器楽合奏、教育芸術社。美術、日本文教出版。保健体育、大日本図書。技術、開隆堂出版。家庭、東京書籍。英語、学校図書。以上でございます。

○委員長 ありがとうございます。本日の採択教科用図書の発行者は以上のとおり、発表のとおりでございます。採択理由の一覧表については、これまでの審議等を踏まえて事務局におきまして作成することといたします。よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。異議なしでございますので、事務局において作成することをお願いしたいと思います。

以上で平成28年度使用の中学校教科用図書の採択審議を終了いたします。

指導室長。

○指導室長 続きまして、平成28年度使用小学校教科用図書の審議をお願いいたします。小学校では26年度に採択しましたので、28年度は引き続き同一の教科用図書を使用することになっております。ご審議のほどお願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。ただいま指導室長から細目にわたるご説明がございました。小学校教科用図書につきましては、平成 26 年度採択がえが行われて、平成 30 年度までの間、同一の教科書を採択することとなっております。そこで皆様方の別紙 2「平成 28 年度使用教科用図書（検定教科書）採択一覧表（小学校・特別支援学校用）」のとおり採択することになりますけれども、ご意見がございましたら、ご発言をお願いしたいと思います。

杉浦委員、お願いします。

○杉浦委員 小学校では別紙の一覧表の教科書を使って授業を行い、十分に活用されていると聞いております。したがって引き続き一覧表にある教科用図書を採択することによってよろしいと考えます。いかがでしょうか。

○委員長 ほかにご意見はございませんでしょうか。

（「ありません」の声あり）

○委員長 それではお諮りいたします。今、私のほうからご報告しました別紙 2「平成 28 年度使用教科用図書（検定教科書）採択一覧表（小学校・特別支援学校用）」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することにご異議はございませんでしょうか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長 ありがとうございます。異議なしとのことですので、この一覧表のとおり「平成 28 年度使用教科用図書（検定教科書）（小学校・特別支援学校用）」を採択することに決定いたしました。

指導室長。

○指導室長 続きまして、特別支援学級で使用する学校教育法附則第 9 条の規定による教科用図書につきましては、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律施行令第 15 条に規定する同一教科用図書を採択する期間 4 年が除外され、毎年採択がえを行うことができるとなっております。したがって教育委員会は平成 28 年度に使用する特別支援学級の一般図書について採択がえを行うこととなります。ご審議のほどをよろしくお願いいたします。

○委員長 ただいま指導室長のほうから提案の理由を述べさせていただきました。

資料別紙 3「平成 28 年度使用教科用図書（特別支援学級）採択一覧表（小学校用）」及び別紙 4「平成 28 年度使用教科用図書（特別支援学級）採択一覧表（中学校用）」について、ご意見を求めたいと思います。何かございますでしょうか。

天宮委員、お願いします。

○天宮委員 学校教育法附則第 9 条教科書用図書は、小学校及び中学校の特別支援学級設置校において各学校が調査研究し、校長が責任を持って報告したものであると認識しております。児童・生徒の障害の種類、程度、能力、特性に最もふさわしい内容でありますので、これによってよろしいかと思えます。

○委員長 ほかにご意見はございませんでしょうか。よろしいですか。

(「ありません」の声あり)

○委員長 それではお諮りいたします。「平成 28 年度使用教科用図書(特別支援学級)(小学校用)及び平成 28 年度使用教科用図書(特別支援学級)(中学校用)」につきましては、一覧表に記載されている図書を採択することに異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 異議なしとのことですので、この一覧表のとおり「平成 28 年度使用の教科用図書(特別支援学級)(小学校用)、及び平成 28 年度使用教科用図書(特別支援学級)(中学校用)」を採択することと決定いたしました。

以上で平成 28 年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択につきましては、全て審議が終了いたしました。

今回の議案にかかわる審議につきましては、別添参考資料のとおり教科用図書の採択に関する検討委員会の報告書、会議録などは公正確保の観点から東京都教育委員会に報告する 8 月 31 日までを時限非公開としてまいりたいと思います。ただし採択結果につきましては、区民の関心も高い点を考えますと、教育委員会終了後に公表一覧が作成され次第公表したいと思いますが、ご異議はございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 ありがとうございます。異議なしとのことですので、事務局におかれましてはよろしくお諮りをしていきたいと思います。また、ご出席の皆様方におかれましても、この点を十分ご承知おきいただき、ご配慮いただくことをぜひお願い申し上げたいと思います。

指導室長。

○指導室長 ただいまの決定によりまして、まずは本日の採択結果につきましては、採択結果を取りまとめて一覧表にしたものを即日公表させていただきます。また、教科用図書採択公表文書一覧表にございます文書につきましては、東京都教育委員会へ報告後、また、事務処理が終了いたしましたところで、9 月 1 日以降教育委員会事務局及び区政情報コーナーにおいて公表したいと考えております。

なお、教育委員会の会議録につきましては、多少お時間をいただきますと思いますので、ご了承いただければと思います。

以上です。どうぞよろしくお願いたします。

○委員長 ただいま指導室長のほうから、本日の採択結果以外の文章の公表につきましてご説明いただきました。この取り扱いでよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

○委員長 先ほどもちょっと私のほうから述べさせていただきました 8 月 31 日までに東京都

教育委員会に報告する時限秘という部分も重ねて再度委員長のほうからお願いをさせていただきながら、異議なしとのことですので、よろしくどうぞお願いいたします。ありがとうございました。

議案等の第43号「平成28年度使用義務教育諸学校用教科用図書の採択について」は、各委員のご協力のもとに、採択が決定いたしました。

次に日程に従いまして、報告事項等に入ります。

報告事項等1、「『かつしか進路フェア2015』の実施結果について」、生涯学習課長からお願いしたいと思います。

○生涯学習課長 それでは、私から「かつしか進路フェア2015」の実施結果についてご報告をさせていただきます。

先週の土曜日、8月1日、大変お暑い中、早朝からお集まりいただきましてありがとうございました。この場をお借りして改めてお礼を申し上げたいと思います。おかげさまをもちまして、大変盛況のうちに開催することができたと思っております。

資料の7番の内容でございますけれども、例年同様高校の教職員による学校の説明等とあわせまして、(2)、(3)、(4)に記載がございますように、教育資金のご案内ですとか、スクールカウンセラー、あるいはことしから初めて子ども・若者応援ネットワークによります相談コーナー等の専門のスペースを設けまして、実施をしたというところでございます。

参加高校でございますけれども、8番に記載のとおり資料参加も含めまして106校ということで、ことしも100校以上の高校に参加をいただいたという状況でございます。

それから参加者数、11番に記載がございますように、速報値になりますけれども2,780人ということで、昨年より280人余り増えており、暑い中でしたけれども大変出足よく参加をいただいたというところでございました。

それから13番のその他は記載のとおりでございますけれども、先ほどご説明しました相談コーナーとして専門の部屋を設けて実施したということ、それから工業高校や商業高校、あるいは男子校、女子校と、わかりやすく分けて配置をしたというような工夫を今年度は凝らしてございます。

それから14、15番でございますように、参加生徒、保護者、あるいは参加校への意向調査、アンケートでございますけれども、参加した保護者の方・生徒も同様ですが9割以上の方が参考になったとご回答いただいております。また、進学したい、受験したい学校が見つかったかという問いには、約3分の2弱ですけれどもかなりの生徒さん、それから保護者の方が参考になったと答えております。

高校の方も、90校の回答でございましたけれども、来年もぜひ参加したいということで、かなりの高校から回答をいただいているところでございます。こういったことで来年以降も、ま

たことしの反省も踏まえながら、より効果的、効率的な形で実行していければと思っておりますので、よろしく願いいたします。添付の黄色い紙は、当日お配りしましたパンフレットでございますので、当日もご覧になっていただいていると思いますけれども、参考にさせていただければと思います。

簡単でございますけれども、私からの報告は以上でございます。よろしく願いします。

○委員長 ありがとうございます。ただいま生涯学習課長から、特に重ねてことしは第5回目に入りまして、発足当初から考えますと、もう倍以上の参加者、特にいわゆる猛暑日の口付けのような日付の中で、非常にご苦勞かけました。ただ、やはり子どもたち、保護者の方も非常に興味深く、それがいいパーセンテージに出ていることを感じました。

委員の方から何かご意見ございますか。

竹高委員。

○竹高委員 ご説明ありがとうございます。この後援、協力してくださっている方、従事の方が100名いらっしゃったということで、本当に朝早くから暑い中で、ご苦勞さまでございました。ありがとうございますという気持ちでいっぱいです。

毎年見せていただいて、暑い中でいらっしゃる保護者の方、子どもの方、生徒たちを含め、とてもスムーズに流れができるような形になっているのではないかと感じました。

ただ、1点だけ、毎年形は変えて工夫をなさってくださいなのが非常に伝わってくるのですけれども、ちょっと残念だったのは3階の部分に工業科が固まっていたようで、学校の説明を受けたい生徒の絶対数が低いところが3階に集まっていると、とても閑散としてしまう部分というのがございます。絶対数が多い学校を私立でも都立でもいいので3階にしますと、すぐく込んでいる場所の分散化も図れるのではないかなと思いました。いらっしゃっている方からも同じようなお話を伺うことができました。いつも滞ってしまうところが、すごく流れがよくなっていると思うのですが、3階に工業科を一まとまりにしたのはとてもわかりやすかったのですけれども、そこの課題を考慮して、また来年ステップアップしていただけるとよいのではないかと感じました。これは要望でございます。

○委員長 生涯学習課長、お願いします。

○生涯学習課長 ありがとうございます。確かに3階は私も行ってみましたが、非常に冷房がよくきいているという状況でございましたので、また今回の反省も踏まえて、来年以降どういうふうにするかというのは、実行委員会と議論していきたいと思っております。ありがとうございます。

○委員長 ありがとうございます。ただいま非常に次年度に向けて、特に生徒さん、保護者の方にも好評を得た実績が上がっていますので、またさらなる実績を上げていただくように委員長からもお願いします。

ほかによろしいですか。

(「はい」の声あり)

○委員長 それでは、「その他」の事項に入ります。

庶務課長、お願いします。

○庶務課長 それでは、「その他」について説明させていただきます。本日3件でございます。

まず1の資料配付でございます。(1)、(2)でございます。(1)のスポーツ推進だより、ナンバー66号でございます。A4、4枚で第22回のお花見チャレンジウォーク等の記事を掲載してございます。

続きまして(2)が9月の行事予定表でございます。こちらがA4の表裏両面でございます。後ほどごらんおきください。

続きまして、2の出席依頼でございます。本日については2件でございます。まず9月18日、葛飾区スポーツ推進委員選考委員会、こちらについては塚本委員長のご出席をお願いいたします。続きまして、10月12日、かつしかスポーツフェスティバル2015、こちらについても委員長のご出席をお願いいたします。

続きまして3、次回以降教育委員会の予定でございます。記載のとおり9月7日、9月28日でございます。よろしくお願いいたします。

○委員長 ありがとうございます。

委員からのご発議、あるいはコメントがございましたら求めたいと思いますけれども、いかがですか。よろしいですね。

これをもちまして、平成27年教育委員会第8回定例会を閉会といたします。長時間にわたりましたありがとうございます。

また、傍聴の方、ありがとうございました。

閉会時刻 12時25分